

注意すべき疾患!

歯科疾患

主な検査

血球計算、SAA、細菌培養検査、レントゲン検査

特徴的な臨床徴候 チェックしてみましょう

- 食欲がなくなる
- 顔の一部が腫れる
- よだれ

歯根に細菌が感染すると目の下や顎に膿が溜まり腫れてくる歯根部膿瘍が発生します。

発症するとどんな症状が出るの?

牧草の摂取不足による歯の摩耗の低下、外傷、遺伝などで前歯や奥歯の咬み合わせが悪くなることを不正咬合といい、それに関連して歯根に細菌が感染すると目の下や顎に膿が溜まり腫れてくる歯根部膿瘍が発生します。

歯科検診・爪切と合わせての受診をお勧めします!

うさちゃんの健康診断のすすめ

どんなことするの? 何が分かるの?

問診

血液検査

身体検査

便検査

ウサギは犬猫に比べて成長のスピードが速いです。健康管理をするうえで定期的な健康診断の受診は重要になります。

Point

ラビットフードのほかに牧草をしっかり食べさせ、適度な運動と衛生的な飼育環境を用意し、ストレスを与えない様に飼育しましょう。

詳しくは当院 獣医師・スタッフにご相談下さい



ちゃん

体重 _____ kg

年齢 _____ 歳 _____ ヶ月

今回受診日 _____ 月 _____ 日

次回受診予定日 _____ 月 _____ 日

メモ

いつから?どのくらいの頻度で受けるの?

成年期を迎えたら **年に1回**

シニア期を迎えたら **年に2回**

年齢換算表 (参考)

若齢期	成年期	シニア期
1歳未満	1~6歳	7歳~

監修



田向 健一先生

田園調布動物病院 院長

FUJIFILM
Value from Innovation



うさちゃん 健康BOOK

どんな病気が多いの?

富士フイルム VETシステムズ株式会社

FUJIFILM、およびFUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

ウサギの三大疾患

1

消化器疾患

主な検査

アルブミン、AST、ALT、尿素窒素、中性脂肪、血糖
レントゲン検査、超音波検査

食べ残している?!

🔍 特徴的な臨床徴候 ✓ チェックしてみましょう

- 食欲がなくなる
- おなかが張っている
- 便が出ない
- 小さい便
- 元気がなくなる
- じっとして動かない

食物繊維の不足により発症しやすいです。

発症するとどんな症状が出るの?

胃腸のぜん動運動が低下することによる胃腸うっ滞*1、飲み込んだ被毛や絨毯などの異物によって消化管に詰まってしまうことで起きる消化管閉塞があります。また、それに付随して食欲不振が続くと脂肪肝（肝リピドーシス）になることがあります。

※1 胃腸うっ滞：消化管の運動が止まってしまうこと。



2

生殖器疾患

主な検査

アルブミン、尿素窒素、血球計算、SAA
細菌培養検査(子宮蓄膿症)、レントゲン検査、超音波検査

未避妊・未去勢は要注意?!

🔍 特徴的な臨床徴候 ✓ チェックしてみましょう

- 食欲がなくなる
- 元気がなくなる
- 血尿、外陰部からの出血(メス)
- おなかが張っている(メス)
- 睪丸が大きくなる(オス)

避妊や去勢をしていない高齢ウサギに非常に発症しやすいです。

発症するとどんな症状が出るの?

メスでは、子宮腫瘍・子宮内膜過形成*2・子宮蓄膿症などがあります。オスでは精巣腫瘍が発生します。早期発見と手術によって治療が望めますが、腫瘍が悪性のがんの場合、一旦転移してしまうと根治が難しい疾患です。

※2 過形成：過剰な細胞分裂が起こり、細胞増殖することによって組織の体積が増加すること。

3

エンセファリトゾーン症

主な検査

ウサギエンセファリトゾーン抗体価

知らないうちに感染している?!

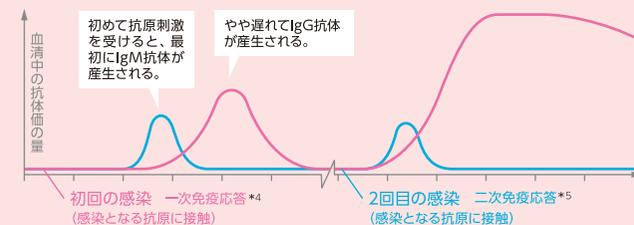
🔍 特徴的な臨床徴候 ✓ チェックしてみましょう

- 眼球が揺れ動いている
- 眼が白くなる(白内障)
- 頭が斜めに傾いている(斜頸)

親から菌(真菌)をもらったり、同居のウサギから感染して、脳や眼で増殖することにより発症します。

Point

抗体価検査で、“IgG抗体検査”が陽性の場合、①現在の感染の可能性 ②慢性感染 ③過去の感染のいずれかの状態だということがわかります。また、“IgM抗体検査”を同時に測定することで活動性感染(急性、再活性化、再感染)の区別が可能となります*3



※3 Tomás R Magalhães, Filipe F Pinto(2016),A multidisciplinary review about Encephalitozoon cuniculi in a One Health perspective. Parasitology Research(2022)121:2463-2479.

※4 最初に菌やウイルスなどに感染した時に起こる免疫反応。

※5 一次免疫応答と同じ菌やウイルスが体内に侵入した時、より早く病原体に反応し、病原体を攻撃したり抗体を作り出す。